

## 会 長 挨拶

圓月 勝博

新型コロナウイルスの感染拡大によって、会員の皆様もご心労多き日々をお過ごしのこととお見舞い申し上げます。9月に東京で開催予定であった全国大会を誰よりも楽しみにしておりましたが、関係者と検討を重ねた結果、本年度は、多数の会員の皆様に全国から安心してご参集いただける環境を準備することは困難であり、全国大会中止やむなしという苦渋の結論に至りました。事情ご高察の上、何卒よろしくご理解の程お願い申し上げます。

この度の事態を目の当たりにして、AI時代の到来を謳歌していたグローバル社会も、身体性を捨象できない人間存在の不条理な脆弱性の上に危うく成立しているにすぎないことをあらためて痛感することになりました。カミュの『ペスト』がベストセラーになっているそうです。カミュの『ペスト』は、ご存じのように、1665年から1666年にかけてロンドンで猖獗を極めた感染症の恐怖を再表象したデフォーの『ペスト』を靈感源の一つとしていました。

17世紀英文学の背後には、時代を超えた感染症の恐怖があったのです。1623年、感染症によって病床に伏したとき、人間存在の不条理な脆弱性を見つめ続けたダンが書き残した『不意に発生する事態に関する瞑想』の中のヘミングウェイの小説の題名にもなった有名な一節を思い出すにはいられません。

... never send to know for whom the bell tolls; it tolls for thee.

ダンの言葉に導かれながら、他者の痛みを自己の痛みとして受け止めて、来年度は、17世紀英文学の核心にこれまで以上に肉薄する全国大会を開催できることを心から祈念して、本年度のご挨拶いたします。

## 1. ホームページおよびツイッターのお知らせ

当学会のホームページ(HP) は金星堂のご協力のもとに学会 HP 委員が運営・管理しております。

<http://www.kinsei-do.co.jp/S17CEL/>

「会員による新刊情報」や「会員による最新研究情報」などの HP 掲載データは年 2 回更新します。原則として 4 月末に各支部事務局、11 月末にホームページ委員が、掲載データを取りまとめます。研究業績を内外に知らせる良い機会となりますので、最新データの提出にご協力をお願いいたします。

また、学会ツイッター（十七世紀英文学会（公式）@S17CEL）ではホームページよりも早く最新情報を掲載しています。フォローおよび最新情報のご確認を随時お願いいたします。

### 教員公募情報受け付けおよびツイッター配信開始のお知らせ

当学会役員会での協議により、国公立私立の大学、短大、それに準じる教育・研究機関から当学会に寄せられた英語英文学関係専任職の公募情報を、学会ツイッターで配信することにいたしました。学会ツイッターでは情報をお寄せいただいた順に、大学の公募ホームページあるいは研究者人材データベース（JREC-IN）へのリンクを掲載いたします。掲載を希望される場合には、本部事務局宛てにメールにて応募締め切りとともにお知らせください。なお、ウェブサイトへのリンクがない場合は、PDF データを添付ファイルにてお送りください。

## 2. 編集委員会からのお知らせ——論集第 20 巻について

今期編集委員会にて協議の結果、論集第 20 巻のタイトルを『十七世紀英文学における病と癒し』（*Sickness and Healing in Seventeenth Century English Literature*）とすることといたしました。

本巻のテーマとして「病と癒し」を選んだ理由の一つに、感染症の脅威に日々の生活が脅かされている、現在の社会情勢があることは言うまでもありません。だからこそ、「病」に加えて「癒し」をテーマに加えました。もちろん、医学的な意味での「疾病と治療」に議論を限定するものではありません。幅広く、多様な視点から、文学における「病と癒し」というテーマにアプローチした論考をお待ちしています。

今年度は、感染症の拡大により研究者が集う学会や研究会の多くが中止や延期を余儀なくされています。このような状況下では、論集の刊行は学会活動において、より一層重要な役割を担うことにな

ります。私たちの学会の存在意義を確認するためにも、ふるってご投稿くださいますようお願いいたします。

投稿要領は以下の通りです。できるだけ当該タイトルと関連のあるテーマでのご投稿をお願いいたします。

締切日： 2020 年 12 月 31 日

刊行予定： 2021 年 8 月 30 日（予定）

送付先： 各支部編集委員宛（問い合わせは、下記 E メールをお願いいたします。）

東北支部： 梶 理和子 rkazi@yachts.ac.jp

福士 航 fukushwa@tscc.tohoku-gakuin.ac.jp

東京支部： 岩永 弘人 iwan@nodai.ac.jp

宮本 正秀 masheep\_00@yahoo.co.jp[編集責任]

関西支部： 山本 真司 sya@aoyamagakuin.jp

西川 健誠 kenseini@yahoo.co.jp

以下に「編集規定」を添えておきます。2016 年度の総会での承認を受けて、「執筆料」および文字数超過に対する「追加料金」についての項目が追加されております。詳しくは下記の編集規定をご覧ください。

ちなみに、今回も次の 3 点について、会員の皆様にご理解をお願いいたします。

1. 執筆者は **5 冊**ご購入のこと。
2. 執筆者以外の会員は、**各人 1 冊**ご購入のこと。所属大学図書館でのご購入も積極的にご検討ください。
3. 金星堂のテキストをできるだけご採用ください。

### 十七世紀英文学会論集編集規定

1. 寄稿論文は未発表のものであることを原則とする。ただし、既発表の論文でも、編集委員会において本論集に収録することが望ましいと判断されたものは、この限りではない。
2. 原稿は **A4 横書き**とし、長さは註を含めて日本語の場合 **16,000 字**、英語の場合 **8,000 words 程度**であること。「引用文献」(Works Cited)は字数から除く。書式は **48 字×22 行**に設定すること。な

お、英語論文については、英文のネイティヴ・チェックを事前に必ず済ませていること。また投稿原稿は WORD のファイル形式とし、各支部編集委員宛に電子メール添付で送付するものとする。なお校正は、必要最小限の訂正しか認めないので、完全原稿で投稿のこと。

3. 図版・写真などは、著作権に関する問題がなく、またもし費用が生じる場合は執筆者が自己負担することを前提として、掲載を認める。なお希望者は、事前にその旨、所属支部の編集委員に伝えること。
4. 文献引用法その他書式の細目については、Joseph F. Trimmer. *A Guide to MLA Documentation: With an Appendix on APA Style* (ジョゼフ・F・トリマー『MLA 英語論文作成ガイド補遺・APA 方式』丸橋良雄&日高真帆共訳、英光社、2011年)あるいは、最新版 *MLA Handbook for Writers of Research Papers* に則るものとする。また、下記の点に留意すること。
  - (ア) 和文の場合、原則として引用文には邦訳を付ける。(邦訳のみでもよい。)
  - (イ) 引用は3行以上にわたるときは、本文から分離する。
  - (ウ) 注は末尾にまとめる。注番号は、本文・後注ともアラビア数字とし、括弧で囲む。後注番号の次は1コマあける。
5. 投稿の際、編集委員宛の電子メール本文に、氏名、現在の所属ならびに連絡用の住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、そして日本語論文の場合は英文タイトルを記載すること。
6. 論集原稿の採択および編集は、編集委員会の責任において行うものとする。
7. 執筆者は従来通り買い上げ5冊に加えて、執筆料1万円を支払うこととする。ただし、学生会員には執筆料を課さない。また、字数は超過しないことが原則だが、万一超過した場合については、追加料金を課す。

### 3. 全国大会について

2020年9月に予定しておりました全国大会の開催可否について圓月会長、本部事務局、支部事務局で協議を重ねた結果、やむなく中止という決定をいたしました。すでに各支部のメーリングリスト等でも通知しておりますが、この場であらためてお知らせいたします。ご理解のほどをお願い申し上げます。

#### 4. 総会について

今年度の大会中止にともない、同日に開催予定の総会についてはメールによる審議をもって代替させていただくことを検討しております。詳細は次号のニューズレターにてお知らせいたします。

#### 5. 会計報告（速報版）

2019年度の会計報告を以下に記します。会員の皆様には会費納入へのご協力をお願い申し上げます。

2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）

収入		支出	
前年度からの繰り越し	616,394	論集第19号	400,000
会費収入 東北支部	42,000	HP更新費用	39,600
東京支部	153,000	通信・事務費（封筒・切手・振込手数料）	24,876
関西支部	105,000	大会開催費（会場費・コピー代）	20,750
論集第19号執筆料	60,000		
全国大会懇親会余剰金	54,500		
郵便貯金利子	4		
計	1,030,898	計	485,226

次年度繰越金 545,672円（2020年5月31日）

\*正式な会計監査付きの資料は総会資料としてあらためて配布いたします。

#### 6. 訃報

入子 文子 先生

杉本 龍太郎 先生

両先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

## 7. 担 当

- \* 本部事務局：伊澤 高志
- \* 本部会計：松田 幸子
- \* 東北支部事務局：
- \* 東京支部事務局：松山 響子
- \* 関西支部事務局：松本 舞
- \* 学会ホームページ委員：山本 真司

## 十七世紀英文学会規約

### (名称)

- 1 本会は十七世紀英文学会と称する。

### (目的)

- 2 本会は十七世紀英文学の研究を促進し、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。

### (会の活動)

- 3 本会に本部と支部を置く。各支部は年数回の談話会等を開いて会員の発表・報告を聞き、研究情報等を交換する。

(2)本部は総会を開いて重要事項を決定すると共に「ニュース」「論集」等の編集刊行をする。なお、「論集」編集規定は別に定める。

(3)各支部は相互交流のために、年一回、談話会等に他支部所属会員を招聘することができる。その際には、本部会計より旅費（一律2万円）を補助するものとする。

### (会員)

- 4 入会希望者は、各支部または本部に申し込んで会員となることができる。

### (会長)

- 5 本会に会長をおく。

(2)会長は会員の互選により総会で決定する。

(3)会長の任期は2年とする。再任は妨げないが、再任は1回限りとする。

### (顧問)

- 6 本会に顧問をおくことがある。

(2)顧問は会員の総意により総会において委嘱する。

### (組織および会の運営)

- 7 本会は会長の他に次の役員をおく。

本部幹事若干名      支部幹事各2名

編集顧問      編集委員若干名      会計監査2名

(2)本部幹事は会員の互選により総会で決定し、支部幹事と合議の上で本会の運営にあたる。

(3)支部幹事は各支部で選出し、本部に報告する。支部幹事は支部の運営の他に本部との連絡にあたる。なお、本部幹事と支部幹事が重複することは差支えない。

(4)編集顧問は編集委員会が委嘱する。

(5)編集委員は、当分の間、各支部より2名選出するが、東京支部は3名とする。編集委員は編集会議を開き、「ニュース」「論集」等の編集にあたる。

(会計)

8 本学会の経費は会費、寄付金その他の収入をもってこれにあてる。

(2)会費は年額、本部会費3,000円、各支部会費（東京支部500円（学生会員を除く）、関西支部2,000円（学生会員を除く））とし、あわせて支部に納入する。本部会費3,000円は各支部により本部へ送付するものとする。

(3)本部会計の決算報告は翌年度の総会において行なう。

(4)会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

(5)本部会計は本部幹事がこれを統括し、会計監査がこれを監査する。

(規約の発効)

9 本規約は1984年5月12日より発効する。

(規約の改正)

10 本規約は改正の要が生じた時は総会おいてはかる。

1988年5月21日一部改正／1989年5月20日一部改正／1996年5月25日一部改正／2010年5月29日一部改正／  
2013年5月24日一部改正／2017年4月1日一部改正／2018年4月1日一部改正／2018年9月8日一部改正